



第41回(2026)

京都賞記念講演会

2026年11月11日(水)13時～ 国立京都国際会館

入場無料

同時通訳

定員 1,500名(先着順)

先端技術部門

Tsutomu Miyasaka

宮坂 力

化学者

桐蔭横浜大学 大学院工学研究科 特任教授／早稲田大学 特命教授

「光と電気化学の境界を研究して50年」



基礎科学部門

Farooq Azam

ファルーク・アザム

海洋微生物学者

カリフォルニア大学サンディエゴ校 スクリップス海洋研究所 名誉教授

「『微生物ループ』から『微生物が築き上げる海洋生態系』へ」



思想・芸術部門

Laurie Anderson

ローリー・アンダーソン

マルチメディア・アーティスト

「教えに満ちた空」



科学や技術、思想・芸術の分野に大きく貢献した方々に贈られる「京都賞」。
本講演では、京都賞受賞者に業績や研究・活動内容などをエピソードも交えながら語っていただきます。
受賞者の人生観や人柄にも触れられる貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。

先端技術部門

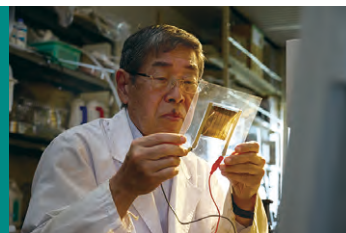
エレクトロニクス

宮坂 力

化学者

桐蔭横浜大学 大学院工学研究科 特任教授／早稲田大学 特命教授

光と電気化学の境界を研究して50年



ハロゲン化金属ペロブスカイト半導体を用いた光電変換は2006年に研究を開始しました。2012年に全固体化技術を発表すると世界で研究が加速し、その太陽光エネルギー変換効率が産業をリードしてきたシリコン結晶の最高効率と同等まで高まりました。その発明の背景として私が学生時代から取り組んできた光電気化学の研究を紹介するとともに、ペロブスカイト太陽電池のもつユニークな特徴と産業実用化の動向を紹介し、この技術が拓く未来の可能性を語ります。

基礎科学部門

生物科学
(進化・行動・生態・環境)

ファルーク・アザム

海洋微生物学者

カリフォルニア大学サンディエゴ校 スクリップス海洋研究所 名誉教授

「微生物ループ」から「微生物が築き上げる海洋生態系」へ



海が生み出す有機物は地球全体の光合成（一次生産）の約半分。その有機物の行方は、地球環境を大きく左右します。従来は、植物プランクトンから始まり動物プランクトン、高次捕食者へと続く「生食連鎖」が重要だとされてきました。しかし私たちの実験により、一次生産の多くは生食連鎖に利用されずに小さな有機物として水中に放出され、細菌たちが素早く取り込むことが判明しました。さらに原生生物が細菌を食べることで、細菌由来の有機物が再び生食連鎖に戻ることも、光合成に必要な栄養塩が再供給されます。これが「微生物ループ」であり、炭素や栄養塩の循環に対する理解を一変し、微生物を海洋生態系の「設計者」として捉える新たな視点をもたらしました。本講演では、この概念の確立につながった一連の発見をたどり、ミクロな世界で生じる微生物と有機物の相互作用が、海洋生態系という大きな世界のはたらきを生み出す仕組みを探っていきます。

思想・芸術部門

音楽

ローリー・アンダーソン

マルチメディア・アーティスト

教えに満ちた空



幼い頃から空が好きでした。私が育ったのは平地が続く米国中西部、空が世界の半分を占める場所です。空はいつも生き生きと魔法のように自由とエネルギーを感じさせてくれました。空は芸術家のもつ限らない表現の源の象徴で、私の作品によく登場する、創作の原動力です。私はいつも師となる存在を探していますが、本当に求めているものを一言で表せば「自由」です。私は自由になる術を学び実践しようとしてきました。音楽家として私はいつも時間を扱っています。時間を切り取ったり、枠組みを与えたり、引き伸ばしたり。また、いつも愛を形にしようと試みています。最も偉大な師は音楽そのものです。エクトル・ベルリオーズによれば、「愛は音楽を伝えることはできないが、音楽は愛を伝えることができる」のです。私はこういった事柄のよき学び手であろうとしています。本講演では、私の根本にある発想の源とそのインスピレーションとしての空が意味することについて、至る所で師を探し求めた冒険、何度も寄り道する中で見出した落とし穴や誤り、啓示についてお話しします。

*講演タイトルは変更になる場合がございます。

受賞者 Q&A トーク

講演後には、講演内容や業績、人生観などについて、受賞者にさらにお話を伺います。

受賞者をもっと知る

会場内には、受賞者の業績や活動内容を紹介する展示コーナーを設けています。また、京都賞ウェブサイト (<https://www.kyotoprize.org/>) では、受賞者の業績をより深く知ることができるコンテンツを用意しています。

第41回(2026)京都賞記念講演会

2026年11月11日(水)13時～ 国立京都国際会館 京都市左京区宝ヶ池
地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩5分

入場無料

同時通訳

定員 1,500名 (先着順)

参加申し込みの方法および詳細は二次元コード／URLよりお願いします。
<https://www.kyotoprize.org/>



お問い合わせ

京都賞運営事務局 株式会社コングレ内
Tel 050-1736-6280 (受付時間 平日 10:00～17:00) E-mail kyoto-prize-lecture@congre.co.jp

主催

公益財団法人 稲盛財団

後援

京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、大学コンソーシアム京都、京都商工会議所、京都新聞、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、NHK、KBS京都、エフエム京都